

吉浜のつなみ石



【ナレーション】

昭和時代のはじめのこと、吉浜の海から少し離れたがけの上に、大きな岩がありました。

【つなみ石】

「ぼくの名前は、つなみ石。
名前のとおり、津波と関係があるんだよ。

昔、大きな津波があったときに、ここまで流されてきたんだ。」

吉浜のつなみ石



【つなみ石】

「今から120年以上も昔、明治時代には、このあたりに家がたくさんあったんだ。」

それなのに明治29年(1986年)に明治三陸大津波がおきた。

87戸のうち35戸の家がながされて、吉浜村に住んでいた人1,059人のうち約210人がぎせいになったんだ。

ほくもここまで流されたんだけど、津波のこわさを忘れないように、昔の人們は、ほくの背中に「津波記念石」とかいてくれたんだよ。」

吉浜のつなみ石



【村長】

「つなみ石くん、みんなのことを守ってくれているんだね。ありがとう。」

【ナレーション】

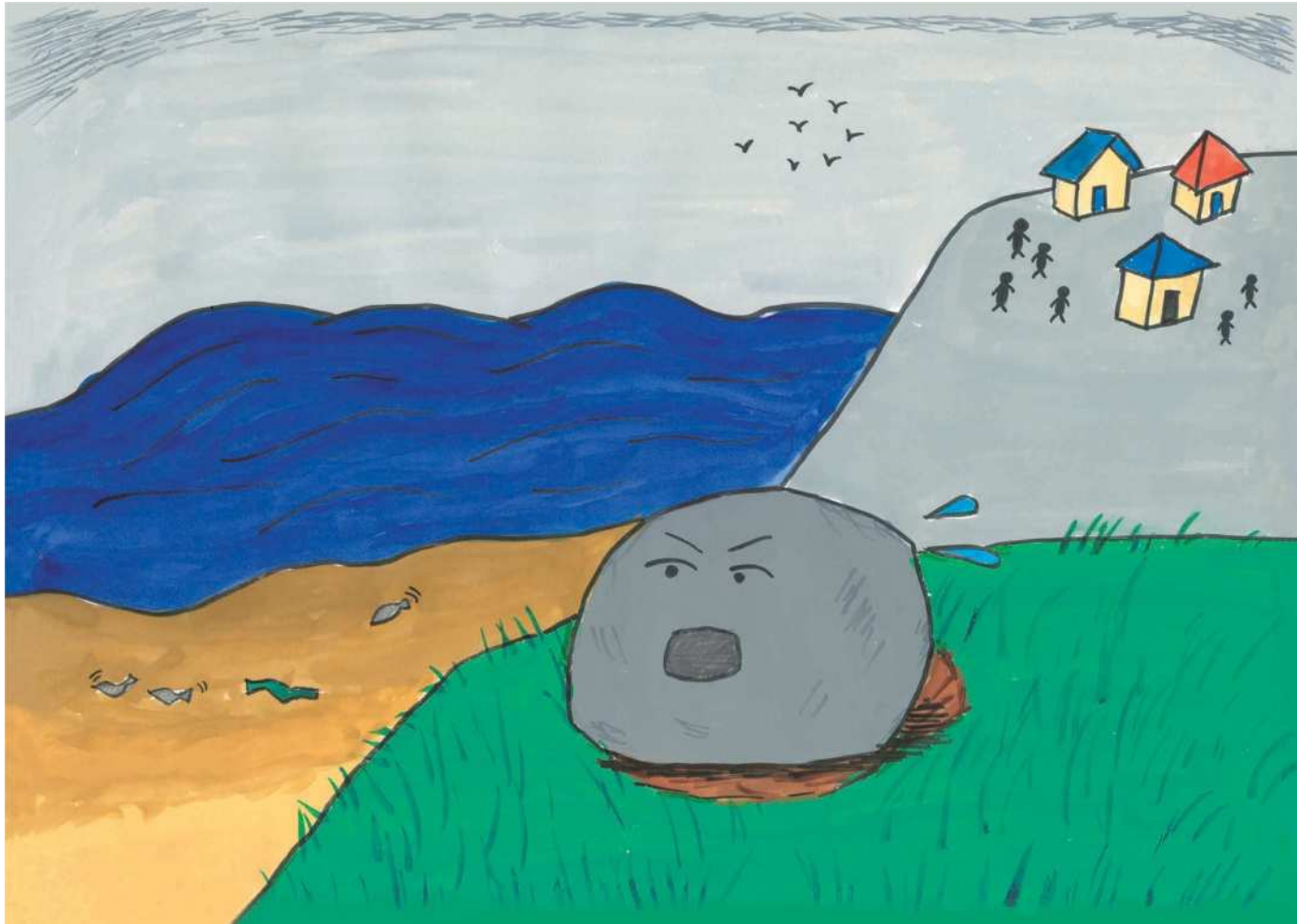
そのころの村長さんが言いました。
村の人たちを津波から守りたい。村長さんは、全部の家を高台にうつすことに決めました。

「わっせ、わっせ。」みんな高台におひっこし。

「トントン、トントン」家を建てる音も聞こえてきます。

つなみ石は、みんなと離れるのが少しさびしかったけれど、うれしそうにながめていました

吉浜のつなみ石



【ナレーション】

それから時は流れて、昭和時代のはじめのころ。

【つなみ石】

「あれっ、なんだかからだかムズムズするなあ。大地震と大津波がくるかもしれない。みんな、早く逃げて！」

【ナレーション】

つなみ石は叫びました。これを聞いた村の人たちは高いところに急いで逃げました。

昭和8年(1933年)、昭和三陸大津波の発生です。

233戸のうち16戸が流されて、住んでいた人1,145人のうち17名がぎせいになりました。

村の人たちの多くが家を高台に移していたので、明治三陸大津波のときよりも小さな被害ですみました。

吉浜のつなみ石



【ナレーション】
昭和時代の村長さんは、つなみ石に
言いました。

【村長】
「つなみ石くん、みんなによびかけてく
れてありがとう。

これからも、わたしたちのことを見
守っててくださいね。

私は村の人たちがもっと安心して暮
らせるように考えてみます。」

【ナレーション】
村長さんは、村の人がつなみ石のあ
たいに家を建てないように、田んぼにし
ました。

吉浜のつなみ石



【村人】

「つなみ石くん、ありがとう。」

【ナレーション】

つなみ石は、みんなに感謝されました。
そして、つなみ石の背中に「石の大きさ、おもさ、この場所に流れついた理由」を書きたし、津波のことを忘れないようにしたのです。

吉浜のつなみ石



【ナレーション】

それから何年も時間がたちました。
安心した暮らしを送っていた村の人たちは、しだいにつなみ石のことを忘れていきました。

【つなみ石】

「みんな、ぼくのところに遊びにこないなあ。さびしいなあ。」

【ナレーション】

そして、ある日。つなみ石は「この石って、なんだっけ。じゃまだな。」と、道路工事のために埋められることになったのです。

吉浜のつなみ石



【つなみ石】

「ぼくは、みんなのことを見守っていたのに…」

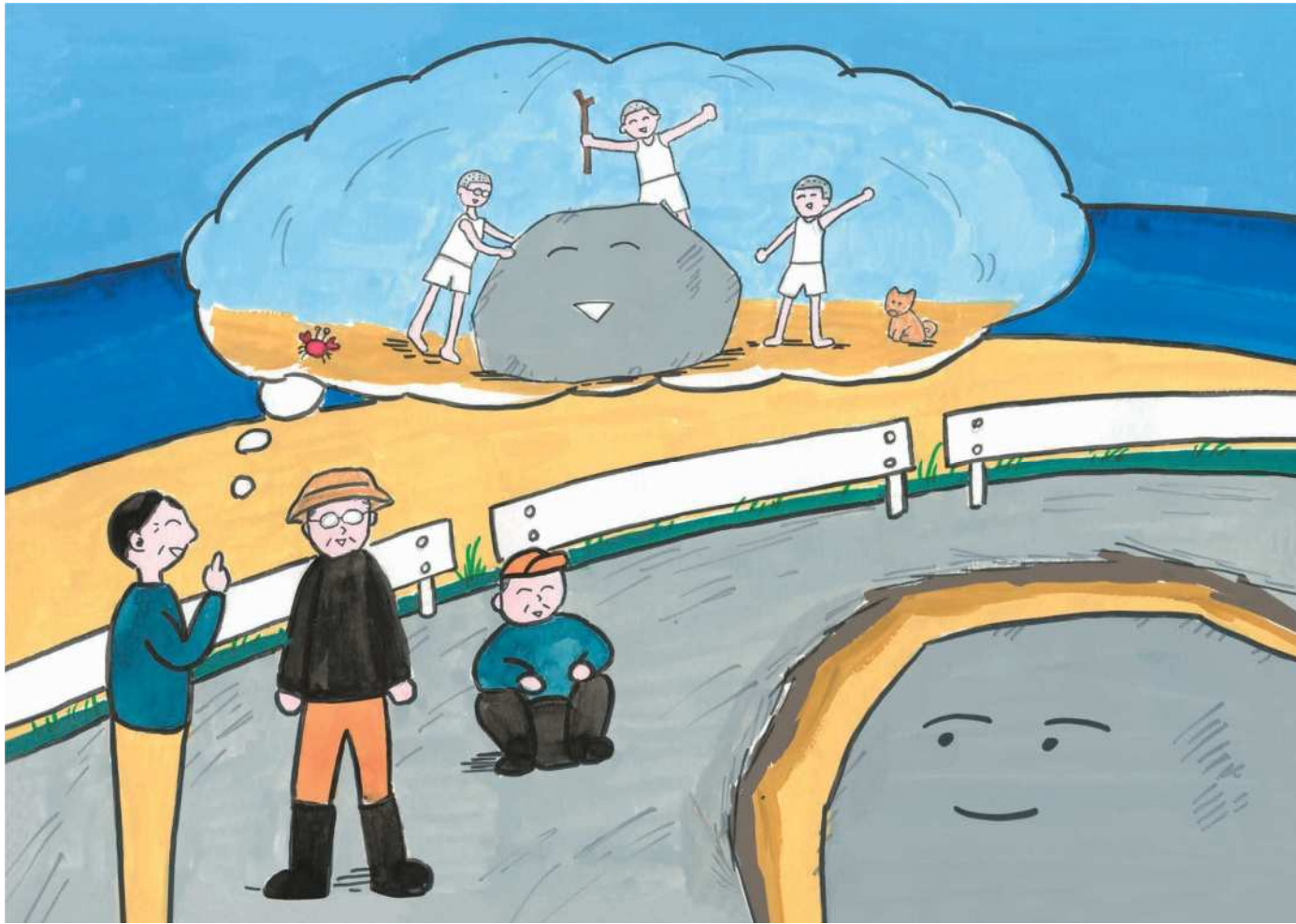
【ナレーション】

土をかけられながら、つなみ石は涙を流しました。

やがて、土の中にすっぽいと埋まってしまい、つなみ石の姿は見えなくなりました。

それから1年、2年と時間が流れ、そこにはやがて道路ができました。

吉浜のつなみ石



【ナレーション】

つなみ石が土の中に埋まってから、
50年以上たちました。

ある日、不思議なことがおきました。

つなみ石が外に出ていたころ、いっ
しょに遊んでいた3人が立ち止まってく
れたのです。

そして、こう言いました。

【村人】

「そういえば昔、このあたりに、大きな
つなみ石があったなあ。」

【ナレーション】

つなみ石はうれしくありませんでした。

吉浜のつなみ石



【ナレーション】
でも、うれしい気持ちは長く続きませんでした。

【つなみ石】
「何だかムズムズするなあ。もしかして、また…？」

【ナレーション】
つなみ石は、大地震と大津波がくることに気づきました。

つなみ石は、土の中からせいりっぱいさげびました。

【つなみ石】
「みんな、早く高いところさ逃げろ！」

吉浜のつなみ石



【ナレーション】

その声は3人に届いたようです。急いで高いところに逃げました。

あとから大津波がやってきました。田んぼが波にのまれていきました。

平成23年(2011年)3月11日、東日本大震災の発生です。

吉浜地区では明治三陸大津波と昭和三陸大津波からたくさんのお話を学び、低い場所には家を建てないように気をつけていました。

それでも波はとても強くて、4戸の家が流され、1名の方がお亡くなりになりました。

大津波から何時間かたって、波は引いていきました。すると、土の中に埋まっていたつなみ石が、地上にあらわれたのです。

【つなみ石】

「みんな、無事でよかった。

ぼくの声が届いたんだ。」

【ナレーション】

つなみ石はほっとしました。

吉浜のつなみ石



【村人】

「あっ、これ、やっぱりつなみ石だなあ。
まちがいねえぞ！」

【ナレーション】

大地震と大津波から数日後、3人はつなみ石を見つけました。

【村人】

「これは、歴史的な大発見だぞ。

つなみ石はおらたちに大津波がくることを教えてくれた。

つなみ石のことを吉浜の宝物にして、これから、みんなに伝えていくべし。」

【ナレーション】

つなみ石のあった場所には、現在、桜が植えられています。

「吉浜のつなみ石」は、今もこれからも、ずっとみんなのことを見守っています。

おしまい